

遊美

- 1 池内 愛子先生の作品と作品についての言葉
- 2 30周年記念寄稿 友の会会長 鈴木 誉志男
- 3 30周年記念寄稿
茨城県近代美術館館長 尾崎 正明
- 4 学芸員に聞く 山口 和子美術課長
- 5 作家探訪 横須賀 幸正先生
- 6 美に遊ぶ
- 7 美術鑑賞旅行／ギャラリートーク
- 8 写真撮影会／日本画講習会／ギャラリートーク
- 9 2018年度友の会代議員会報告／心に残る私の一点
- 10 アンケート報告
- 11 友の会活動状況
- 12 友の会30周年記念行事のお知らせ
あとがき



池内 愛子「誕生日に」

2010年／油彩・カンヴァス／61×73cm

冬枯れの庭に目にも鮮やかな黄色の可憐な花を咲かせ、春一番を告げてくれる福寿草、今年もありがとうと思わず私の気持ちまで明るい感じになります。2月、私の誕生日には毎年息子夫婦より素敵な花束が届いて、お花大好きな私には何よりのプレゼントになります。その瞬間の新鮮な美しさにすごく感動し、喜びで一杯になります。その気持ちのまま

カンヴァスに向かいますが、自然に咲く鮮やかな色彩に圧倒されながら幾日か描き、生花もやや色褪せた頃、何故かのインスピレーション？で、カンヴァスの中の絵は生き生きと甦って来るのです。そして永遠の美しさを求めて自分の納得の行くまで画面に向き会います。これからも楽しく絵を描ける幸せを、しみじみ感じるこの頃です。

(笠間市在住)

遊美

- 1 立川 いくさんの作品と
作品についての言葉
- 2-4 友の会 30周年記念座談会
- 5 友の会草創期—最盛期
- 6 学芸員に聞く
澤渡 麻里主任学芸員
- 7 作家探訪 齋藤 竜太先生
- 8-9 美術鑑賞旅行
- 10 美に遊ぶ
- 11 アンケート報告
- 12 心に残る私の一点
訂正／あとがき



立川 いく「ラフトクレーン」

2014年／油彩・カンヴァス／F 100号／第100回記念光風会展

私の家の近くに君山重機があります。或る日、事務所へ行って「重機の写真を撮らせてください。重機の絵を描きたいので」というと、納得したらしく「どうぞ危ないですから気をつけて下さい」と快く許してくれました。何枚か写真を撮り、後日写真をもとに絵を描き上げた。ふとあのクレーンにも別の名前があるだろうと思い、会社の事務所へ問い合わせ

せたら「あれは、ラフトクレーンだよ」と教えてくれた。それから私は重機の絵を何枚も描いた。県展、市展、会展等に出品することが出来た。すると「あの黄色い絵ね、男の人が描いたのかと思った」とか言う声を何回も聞いた。だけど私これでも女です。ウフフ

(石岡市在住)

游美

- 1 海野 悦子さんの作品と作品についての言葉
- 2 設立30周年記念行事 副会長 滝田賢三
- 3 30周年記念 岩井希久子氏講演会
企画委員(講演会担当) 佐伯佳子
- 4 茶話会/友の会会員作品展
- 5 国内美術鑑賞旅行のあゆみ
- 6 海外美術鑑賞旅行のあゆみ
- 7 海外美術鑑賞旅行のあゆみ
(ヨーロッパ編)
- 8 海外美術鑑賞旅行のあゆみ
(アメリカ編)/ギャラリートーク
- 9 国内美術鑑賞旅行
- 10-11 会員の声(アンケートから)
- 12 学芸員に聞く 今瀬 佐和 首席学芸員
- 13 作家探訪 富山 明峰先生
- 14 心に残る私の一点
訂正/あとがき



海野 悦子「ひるさがりのアトリエ」

2010年/油彩・カンヴァス/F80号/茨城県展

人物画を描くとき、いつも心掛けていることは、基本のデッサンをしっかりと描き、モデルさんに対し心を込めて、美しさや内面の優しさを表現できればとの思いで描いています。気の合う仲間と、サークルで人物画のデッサンの勉強をしておりますが、未だなかなか思うようにはいきません。

この作品は、9年程前に、初めて80号のカンヴァスに挑戦し、アトリエ(ロット)を一人でお借りして描いたものです。当時、別の会で教えて頂いてい

た先生が入院されていてお話ができず、県展に出品してみようか、とても迷いましたが、おずおずと初めて出品し入選できたものです。先生に県展出品したこともお話できないままになってしまったことは、今でもとても心残りです。現在も拙い絵を描き続けています。

素晴らしい「游美」の表紙を飾るには、とても未熟で烏滸(お)がましく思いますが、私にとっていろいろな思いの詰まった一枚です。
(水戸市在住)